

第1回 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画策定委員会 会議録

1. 開催日時：令和6年8月27日（火）19時00分から20時30分まで
2. 開催場所：狛江市防災センター4階 401会議室
3. 出席者
委員：松原俊雄市長、吉田清司委員、富永茂和委員、大谷啓史委員、渡辺保英委員、岡川清明委員、鈴木孝順委員、小町武夫委員、伊達康之委員、岩渕一夫委員、金築宏美委員
事務局：狛江市 企画財政部政策室（杉田篤哉室長、中村容明、宇野暁行）
株式会社建設技術研究所（森田、久湊）
4. 議事概要
 - (1) 市長挨拶
 - ・市長より挨拶
 - (2) 委嘱状の交付
 - ・各委員の机上にて事前交付
 - ・各委員の自己紹介
 - (3) 委員長及び副委員長の選出
 - ・事務局より、吉田委員を委員長に推薦し、一同承認。
 - ・事務局より、富永委員を副委員長に推薦し、一同承認。
 - (4) 諮問
 - (5) 旧狛江第四小学校跡地整備基本計画の策定について
 - ・事務局より、「資料3 旧狛江市第四小学校跡地整備基本計画の策定について」の説明。
 - ・副委員長より、別紙「旧狛江第四小学校跡地活用に関する要望書」の説明。

<アンケート調査（LoGo フォーム）について>

【委員】

LoGo フォームで意見を募集するということだが、対象や公募の周知方法は何か。また、問2について、項目1～4は現施設の利用者を前提しているように思える。もし未

利用者が質問を答える場合、「特になし」と回答され、課題とされることがないように反映されてしまうことが想定される。狛江市のスポーツ施設において、指定管理者が利用者に関するアンケートを取っている事例があるが、その設問手法を参考にされてはどうか。

【委員長】

事務局より LoGo フォームについての説明をしていただきたい。

【事務局】

LoGo フォームはインターネット上で QR コードを読み込むことで、広く意見を取り入れることができる回答フォームである。調査の周知方法について、市の広報に掲載することや若い世代や子育て世代に対しても周知するため子育て専用サイトにも掲載予定である。また未利用者による回答の場合は、ご指摘の通りであり、指定管理者のアンケートについては参照する。

【委員長】

アンケート項目はいつまでに修正するのか。

【事務局】

8月28日までとし、メールにて委員の皆様へ周知する。

【委員】

問2において、新たに整備してほしい施設を詳しく聞いてはどうか。

【事務局】

土地利用方針に沿った意見募集の位置づけであり、委員会における議論の方向性の参考とすることが主旨であるため、施設の具体的内容については聞かないこととしている。

【委員】

問2で番号を3つ選ぶことになっているが、特定項目への回答が多くなった場合はどのように対処するのか。

【事務局】

最も多く選ばれた項目を採用するわけではないが、議論の参考としていただきたい。

【委員】

問1について、市内在勤の場合はどれを選択すべきか。また、アンケートの締め切りはいつ頃の予定か。

【事務局】

1点目については、選択肢がなくご指摘の通りであるため、修正する。2点目について、締切は9月30日までとし、次回委員会では途中経過を報告する予定。

【委員】

周知の対象は市内のみとするのか。

【事務局】

市報や市ホームページ等で周知する。

【委員】

多摩川住宅の建替えにより狛江市外へ転居している方も多いため、周知の仕方は別途相談させていただきたい。

【事務局】

承知した。

【委員長】

一時的に転居している方も対象としているのか。

【委員】

近隣に一時的に転居している方で戻ってくる方でも、市内に戻る人と戻らない人が一定数いることが考えられる。

【事務局】

一時的に転居している方への周知方法も検討する。

【委員】

問2について、回答数を「3つ」と指定せず、「3つ以内」とした方がよい。また9番として「その他」の選択肢を設け、自由記述欄を設けたほうがよい。

【事務局】

承知した。

【委員】

問2について、子ども、高齢者のためのスペースとあるが、それ以外の世代のスペースの充実をどう対処するか。また、防災機能に関する選択肢がある方が、議論が進むと考えられる。

【事務局】

選択肢に関しては土地利用方針のp.21「(2) 機能及び想定規模」や、その他自治体の方針を参考にして定めている。これに加えて、先ほどご指摘のあった「その他」の自由記述欄を増やすことは検討する。

【委員】

体育館の中に避難所機能が含まれるという認識でよいか。

【事務局】

土地利用方針の中で体育館を避難所機能とすることは明記しているが、体育館を災害時に避難所として利用できる一方で、全面的に防災的利用をするというわけではない。基本的には避難所を作るわけではなく、災害時に避難所として運用できるということを想定している。また体育館から現在離れて設置している防災倉庫を、今回は建物内に完備することを想定している。

【委員】

問2の中で防災機能に関する選択肢を入れていただきたい。

【事務局】

承知した。

【委員】

アンケートの回答方法はWebのみか、それとも紙での回答は想定しているか。

【事務局】

ホームページ上で、Web回答のみを想定している。

【委員】

前回のアンケート調査でも意見を集約していると思うが、前回のアンケート結果を踏まえた上で足りない情報について、今回のアンケート調査であえて聞くという理解でよいか。

【事務局】

前回のアンケートは土地利用方針の策定に当たって実施しており、今回は公表済みの土地利用方針を踏まえたうえで、整備を進めていくうえでの検討資料となるようなアンケートを今回実施しようと考えている。

【委員長】

資料4のp.28からアンケートがあるが、これらは市民に公開しているのか。

【事務局】

公開している。

<旧狛江第四小学校跡地利用に関する要望書について>

【副委員長】

狛江市スポーツ協会には現在20種類のスポーツ団体が加盟している。その中からプール、グラウンド等を使う団体から集まってもらい、意見を出していただいた。細かい意見も出たが、自分たちがグラウンドを使っていない団体からも意見が得られており、それらの意見を集約している。できる限りこれらの意見を反映していきたい。

【委員】

20種目のスポーツ団体が必要とするコート規模やその使い方がわかれば議論が深まると思われるため、これらに関する資料を用意いただきたい。

【副委員長】

回答いただいたのは完璧な理想ではないが、各団体の欲しい施設の想定規模に関する意見を募集した。これらを行政に反映いただきたいと考えている。

【事務局】

次回委員会以降、いただいたご要望からの建物や諸室の規模を踏まえた図面等を用意

する予定であり、それに基づいて議論をすることを想定している。

【委員】

プール付き体育館であり、多目的な利用を試みようとしている施設として伺えるが、周辺には類似した施設も多くあると思われる。様々な機能を取り入れようとする、施設の特色が薄れることにつながるため、狛江らしさがある施設として、弱者に対する配慮を行い、多様性を許容する施設として前面に打ち出してはどうか。その姿勢に基づいたハードの面を整備し、またそれを活かせるようなソフトの面を加えていくべきではないか。

【委員長】

パリ・オリンピックでも共生社会や色々な人種に開かれているということを訴えており、ご指摘のような観点は重要だと考える。

【事務局】

本事業では、様々な市民が参加しやすいようバリアフリー等を考慮した上での施設整備を考えている。土地利用方針の中では学童スペースの導入を想定しているが、長期的には子どもの人数が減少した場合、多目的に時代のニーズに応じて弱者の目線に立った利用も想定している。

【委員】

資料4のp.13～15にあるように、多摩川住宅建て替えに伴い、相当数の住民が増えることが想定されるが、避難所の機能が賄えるのかというのが懸念としてある。水害があった場合、避難の容量を賄える広さがあるかどうかということと、男女双方に配慮した空間であるのか、総合的に考えて十分な規模を反映した数値を提示いただきたい。

【事務局】

東京都による首都直下地震等の被害想定に基づく避難者数や、避難所に指定してある施設の受け入れ可能人数については提示できるが、多摩川の氾濫時は市の大部分が浸水する想定であり、そこに住む住民全てが避難する必要があるわけではないが、市の避難所だけで避難者を受け入れることは困難である。ただし、現状の体育館は1階部分にあるため避難場所にはしていないが、今回の整備によって、体育館を上階にすることで避難場所とすることも考えられる。

【委員】

これまでハードの面で容量などに議論の焦点があるが、狛江市が小規模であることや、弱者に対する配慮が非常に欠けていることから、弱者を助けることが学び・生きがいにつながるというソフトの面の充実が狛江市には重要ではないかと考える。バリアフリー、ユニバーサルデザイン等のハードの面は整備されているが、一方で便利さが充実していくと心の面が疎かになり、他者に対して無関心になってしまうことが懸念される。他者に対する配慮への重要性を実感し、利用者に生きがいを与えられるような経営方針を目指していけたらよいと思う。

【委員長】

ご指摘のソフトの面を打ち立てるためにもハードの面はどのように整備するかを考えることは大事であるとする。それぞれを加味した上で議論を進めていくことが必要。

【事務局】

運営につながるようであれば計画に反映していく。

【委員】

整備されることで人と人とのつながりが生まれることが、充実した施設になるわけであり、そのためにどのような人にも適応した施設を計画することが重要である。また、狛江市中学校の体育館では一般開放をしているが、利用者のごみの放置によるマナーが悪い事例が散見されるため、機能面だけではなく、狛江市の明るい未来を目指せるような計画になってほしい。

【事務局】

基本計画段階では施設の必要な機能と規模を決定し、基本設計段階では基本計画を踏まえて、多摩川の景観に調和するように施設の設計をする。

【委員】

施設のデザインについても議論するのか。

【事務局】

この場ではデザインについては議論しない。一方、事業全体の方針として景観に調和することが打ち立てられている。またアンケートの結果にも周辺環境に配慮してほしいという意見があるため、それらを尊重して施設を整備する方向になると考えている。

<その他>

- ・第2回委員会は9月下旬に開催予定。日程決定後、委員に周知。また次回以降、開催時刻は18時からとし、開催日は月曜日または火曜日の想定。
- ・市民アンケートのLoGoフォームの修正版は8月28日に周知。

以上